



産業廃棄物処理計画書

5年 6月 23日

都道府県知事
(市長) 佐藤 樹一郎 殿

提出者 有限会社 今村牧場
住 所 大分県国東市安岐町山浦1802-23
氏 名 代表取締役 今村 均
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 090-8763-3125

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 今村牧場
事業場の所在地	大分県国東市安岐町山浦1802番地23
計画期間	令和4年4月1日～令和5月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	畜産
② 事業の規模	酪農 成牛60頭・育成30頭 繁殖 成牛30頭・育成15頭
③ 従業員数	代表1名 役員1名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 1. 自ら堆肥化 動物の死骸 1. 化製場へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長（産業廃棄物統括責任者）

廃棄物処理方針の決定

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死骸
	排 出 量	1 6 7 4 t	2 t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死骸
	排 出 量	1 6 7 4 t	2 t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1 3 3 9 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	1 3 3 9 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	3 3 5 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	3 3 5 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		動物の死骸
	全 処 理 委 託 量	t	2 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 動物の糞尿は全て堆肥化している。 動物の死骸は化製場へ委託し処理している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死骸
	全 処 理 委 託 量	t	2 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 糞尿は自ら堆肥化している。 動物の死骸は化製場へ委託し処理している。		
	※事務処理欄		